

当センターを受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名（研究番号）	日本語版 Trunk control test in individuals with SCI (TCT-SCI) を用いた本邦における脊髄損傷者の体幹機能の定量化と臨床的有用性、日常生活動作、歩行との関連性に関する検証（医療 2-25）
当院の研究責任者 （所属）	神保 和正（じんぼ かずまさ） （千葉県千葉リハビリテーションセンター 成人第二作業療法科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当者はいません。
本研究の目的	脊髄損傷者（SCI）は上下肢だけでなく体幹機能の障害も重度となる場合が多く、日常生活動作（ADL）に多大な影響を及ぼします。一方で、先行研究では脊髄損傷四肢麻痺、対麻痺問わず体幹機能の向上に対する高いニーズが報告されている反面、本邦での SCI の体幹機能評価はほぼ見られません。 Trunk control test in individuals with SCI (TCT-SCI) はメキシコの J Quinzaños らにより開発され、2014 年頃から海外で報告がなされています。TCT-SCI の特徴は特別な評価キットを必要とせずに座位、基本動作における体幹機能を短時間で数値化することができます。本研究では日本語版 TCT-SCI を作成し、その信頼性、妥当性と体幹機能の側面から上肢機能、下肢機能、ADL、歩行との関連性を検証することを目的としています。
調査データ 該当期間	2020 年 10 月 1 日から 2021 年 3 月 2 日
研究の方法 （使用する試料等）	体幹機能評価である日本語版 TCT-SCI と上肢機能評価である Capabilities of upper extremity test (CUE-T) 、 Graded Redefined Assessment of Strength Sensibility and Prehension (GRASSP) 、日常生活動作の評価である脊髄障害自立度評価法（SCIM）、歩行能力の評価である Walking Index for Spinal Cord Injury (WISCI II) を実施します（全ての評価は 1 週間以内に完了します）。それぞれの評価バッテリーの合計スコア、サブテスト別スコアを用いて統計学的解析を行い、関連性を検証します。なお、本研究における対象者は千葉県千葉リハビリテーションに入院または外来で利用されている脊髄損傷患者様になります。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様個人が特定される情報は利用しません（動画や写真は個人が特定できないように加工した上で利用します）。
任意性の保証	参加・不参加は対象者の自由であり、途中で参加を取りやめることも可能です。また協力を辞退しても何ら不利益を被ることはありません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：043-291-1831（千葉県千葉リハビリテーションセンター代表） 担当者：成人第二作業療法科 神保 和正（じんぼ かずまさ）
備考	この研究に参加するかどうかは対象者の自由意志で決めることができ、同意されない場合や、途中で参加を取りやめる場合も何ら不利益は生じません。参加を希望されない場合は、上記の問い合わせ先にご連絡ください。